

広告特集

企画・制作 朝日エージェンシー西部

「第11回全国てんかんセンター協議会総会 徳島大会2024」開催記念特集

対談

てんかん支援のいまと今後の展望

幅広い年齢層で発症する「てんかん」。3月2日(土)から2日間、「第11回全国てんかんセンター協議会総会 徳島大会2024」が開催されるのに先立ち、大会長を務める徳島大学大学院医歯薬学研究所の森健治教授と、同大学病院の多田恵暉特任講師に話を聞いた。

様々な原因によって発症し、患者の年齢層も幅広い「てんかん」

——「てんかん」とはどのような疾患ですか。

多田 脳神経が異常に興奮・シヨトとして、一過性の神経症状が生じる疾患です。

出産時に生じた脳の傷、脳腫瘍、過去の脳血管障害や外傷など、原因がはっきりしているケースと、原因不明なケースがあります。頻度としては少ないですが、遺伝による発症もあります。

森 脳の形成に異常があつて生まれた場合、乳幼児期に発症のピークがあります。一方、高齢になると脳血管障害やアルツハイマーなどに伴つて発症するケースがあり、急速な高齢化に

脳の神経細胞がどれくらいの興奮シヨトするかによって、症状の現れ方が異なってくるのです。

薬物療法の効果を確認しながら可能な場合は外科手術も検討

——どのような治療法がありますか。
森 現在、20種類以上の「抗てんかん発作薬」が用いられています。

まず、1剤目を使って発作の抑制状態を観察し、合わないようならば2剤目を使い……といった段階的な投薬で、患者さんのライフステージや生活スタイルなどに、最も適している薬を選択します。

多田 薬物治療を一定期間経けても発作が抑制されず、脳の病変部を完全に切除できる場合、脳外科手術を検討します。

手術には、発作を完全に止める根治術と、発作を和らげる緩和的手術があり、昨年から「脳深部刺激療法(DBS)」が行えるようになりました。医療用ロボットを用いて、病変部に正確に電極を挿入する定位的頭蓋内脳波(SEEG)も各地で行われています。てんかん患者さんが安心して生活できる社会を実現するため、全国のスタッフが様々な啓発活動などを展開中です。てんかん

発作で悩んでいる方は、気軽に相談してください。

森 医師や看護師、臨床検査技師、ソーシャルワーカーなど、様々な職種がてんかん患者さんを支援しています。

3月2日(土)と3日(日)の大会の開催が、社会全体で患者さんを支援することにつながるばと考えるとおりです。



第11回全国てんかんセンター協議会総会 徳島大会2024 事務局長 **多田 恵暉** 氏
(徳島大学大学院 医歯薬学研究所 脳神経外科学分野特任講師) 徳島大学病院 てんかんセンター長



第11回全国てんかんセンター協議会総会 徳島大会2024 大会長 **森 健治** 氏
(徳島大学大学院 医歯薬学研究所 保健増進学部長 子どもの保健学 看護学分野教授) 徳島大学病院 てんかんセンター長

よつて高齢患者さんが増えていきます。

多田 てんかん発作による交通事故が多数報じられていますが、全身がけいれんする発作、けいれんはなくても動きが停止し意識減損をきたす発作もあります。さらに、異臭を感じる、突然光が見えるなど、本人にしか自覚できない症状もあります。

森 脳のシヨトが最初から脳全体からはじまる「全般てんかん」と、脳の特定部分からシヨトが広がる「焦点てんかん」があり、脳のどの部分に、

第11回全国てんかんセンター協議会総会 徳島大会2024
会期: 2024年3月2日(土)・3日(日)
会場: あわぎんホール

てんかん市民公開講座
～みんなで応援しよう!! てんかん支援の輪～
日時: 2024年3月3日(日)
15:20～17:50 入場: 15:00～
会場: あわぎんホール(1F ホール) 参加費無料

ややもすると、偏見や差別の原因となりがちな「てんかん」。てんかんがある人が、疾患を隠さず安心して日常生活や社会参画するためには、周囲の人々をはじめとする社会全体の支援が重要です。「第11回全国てんかんセンター協議会総会 徳島大会2024」の開催に合わせて市民公開講座を実施。てんかんの解説に地元シンガーソングライターのミニライブなども交え、てんかん支援の気運を高めます。